F–WHITE

設計:山本卓郎建築設計事務所

廊下のない中庭の家

–

山本卓郎 | Takuro Yamamoto

–

中庭を持つ平屋の住宅である。敷地は30年前に分譲された東京近郊の住宅地にあるのだが、たまたま区画が典型的な郊外住宅向けのサイズに割り切れず、通常の1.5倍程度の広さだった上に間口が狭いため人気がなく、長らく駐車場として利用されていた。

–

この広めの敷地を予算の制約の中で活用するため、平屋を広く薄く建て、敷地中心部に中庭を配置して邸内にプライベートな屋外を設けることにした。幸い、敷地が広いため中心部は隣家や電線から十分な距離が取れており、遮蔽のない美しい空を楽しむことができる。一方で細長い敷地の中心に中庭を配置した場合、それによって建物が大きく2つに分断されてしまうため、住宅内部の一体感が損なわれてしまうことにもなりかねない。

–

そこで中庭を斜めに配置し、中庭周囲の空間がすべて居室としての広さを持ち得るようにして、廊下をなくすことにした。これらは空気のつながったひと続きの空間であり、中庭を共有することでお互いに強い結び付きを持っている。中庭は室内床と同レベルで全面にデッキが張られているため、サッシを開ければ自由な通行が可能で、屋内の延長としての性質が強い。また中庭のプライバシーが確保されているためカーテンを閉める必要がなく、室内からは実際の床面積以上の広さを楽しむことができる。

–

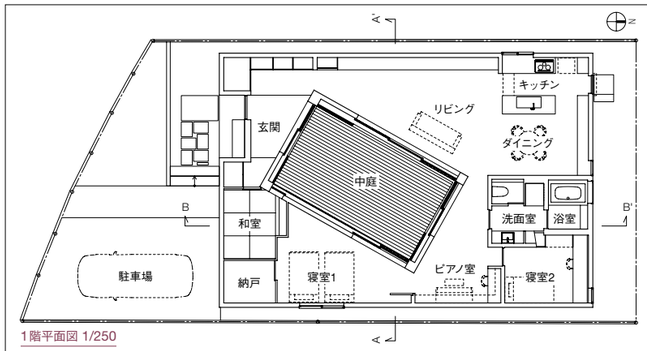
このような広がりと一体感の一方で、中庭周囲それぞれの空間は固有の機能を持つ、性格の異なる部屋の集まりであるともいうことができる。中庭の角を曲がるたびに少しずつ空間の表情は変化し、プライバシーが高まっていく。平面的には単純だが、心理的には奥行きのある空間が形成されており、単なる大空間とは違う多様性が住まいの各所に生じているといえるだろう。

–

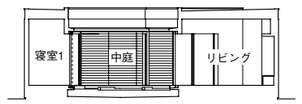
なお、この住宅においては建主の希望により、洋バスよりも深さと広さのある従来型の浴槽が求められたが、そのようなタイプで真っ白な製品は意外に少ない。白が意匠的に重要な役割を持つ住宅であるため、浴槽も中途半端な色とするわけにいかず選択肢に苦しんだが、幸いINAXの「グラスティN浴槽」は真っ白なカラーバリエーションを持ちながら値段もリーズナブルであり、建主の希望する条件を満たすことができた。水まわりは決してこの住宅の主役ではないが、全体のイメージによく合致するものをつくることができたと考えている。

やまもと・たくろう——建築家/1973年生まれ。1996年、京都大学工学部機械学科卒業。1996–97年、日本電気(NEC)。2001年、早稲田大学理工学部建築学科卒業。2003年、同大学大学院修了。2003–05年、アトリエ・ワン。2005年、山本卓郎建築設計事務所設立。
主な作品:H-ORANGE[2006]、I-MANGO[2008]など。

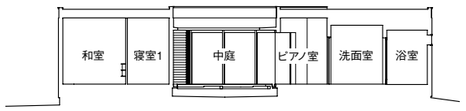
1——ダイニングから見る | **2**——上空から見たF–WHITE | **3**——南面全景 | **4**——和室 | **5**——トイレ | **6**——浴室



1階平面図 1/250



A-A' 断面図 1/250



B-B' 断面図 1/250

建築概要

名称:F–WHITE | 所在地:千葉県柏市 | 家族構成:夫婦+子供1人 | 敷地面積:259.31㎡ | 建築面積:122.03㎡ | 延床面積:118.99㎡ | 規模:地上1階 | 構造:木造 | 工期:2008.11–2009.4 | 設計:山本卓郎建築設計事務所 | 施工:長野工務店

● INAX使用商品 | トイレ | 便器:アメージュCシャワートイレ GBC-110STU/BW1、DT-C152U/BW1 || 浴室 | 浴槽:グラスティN浴槽 ABN-1400/W91、床タイル:サーモタイル IFT-200/PU-31、壁タイル:ミスティキラミック SPKC-100NET/M02